

亜リン酸入り液肥

タキPK液肥

チッソ リンサン カリ
0-12-13

特長

- リン酸とカリを主体とした液肥で、一部に亜リン酸を含んでいます。
- 亜リン酸カリは、植物への吸収が優れています。
- 原料に塩素や硫酸を使用していないので、肥料焼けの心配が少ない肥料です。施設栽培にも安心してご使用いただけます。

効果

① 根の充実

根の再生試験 水稻育苗箱1/2に対して100倍希釈で300ccを3回施用した後、苗の根を切断し再生根の状態を比較した。

試験結果 タキPK液肥を施用した苗の方が根が充実した。
(右記写真参照)



② 徒長軽減

亜リン酸 亜リン酸入りタキPK液肥と亜リン酸の入っていないPK液肥の2種類を用い、ハツカダイコンに200倍希釈で5回葉面散布を行った。

試験区	葉長 (cm)	地上部(乾物g)	地下部(乾物g)	T/R率*
タキPK液肥(亜リン酸入り)	10.6	3.7	2.8	1.3
PK液肥(亜リン酸無し)	10.9	2.3	0.8	2.9

*T/R率とは《Tはtop(地上部)、Rはroot(根部)》植物の地上部と地下部の重量比(地上部重g/地下部重g)を表す。

考察 タキPK液肥区は、亜リン酸無し区に比べ、葉長は短くT/R率が低い。地上部、地下部ともに充実させつつ、徒長軽減効果もあると考える。

③ 耐暑性・耐寒性向上

カリが植物体内の水分を調整することにより、耐暑性・耐寒性の向上が期待できる。

亜リン酸入り液肥

タキPK液肥

チッソ

0

リンサン

12

カリ

13

pH:7.4±0.5

ケース：20kg 入り

比重(20℃)：約1.25

作物別使用方法

作物	施肥時期	施肥方法	希釈倍数	施肥量・回数
野菜	育苗期	葉面散布	500倍	適宜
	糖の生産、デンプンが蓄積されることで丈夫な苗が育ち、早期活着につながります。			
	生育期	かん水施肥	200倍	10~12kg/10a
天候不良時でも、果実の肥大、品質の向上が期待できます。また、樹勢回復を助け、果実の成り疲れ対策にも役立ちます。				
麦	止葉期以降	葉面散布	500倍	4~5回
	養分の生産と転流を促し、細麦や穂発芽が軽減され、登熟がよくなります。			
豆	開花期以降	葉面散布	500倍	3回
	着莢や登熟がよくなります。			
ビート	肥大初期~	葉面散布	500倍	3回
	養分の生産と転流を促し、葉の活力が増すことで肥大につながります。			
馬鈴薯	肥大初期~	葉面散布	500倍	3回
	養分の生産と転流を促し、葉の活力が増すことで肥大につながります。			
果樹	生育期 花芽分化前	かん水施肥	200倍	5~10kg/10a
	糖の生産と転流を促し、枝葉の充実、成熟の向上や花芽の確保が期待できます。			
花卉	生育期	かん水施肥	300倍	3~5kg/10a
	糖の生産、蓄積や転流を促し、茎葉が丈夫になると共に鮮度保持にもつながります。			
水稻	育苗期	かん水施肥	100倍	3~5g/1箱
	糖の生産、デンプンが蓄積されることで丈夫な苗が育ち、早期活着につながります。			
芝草	生育期	かん水施肥	100倍	3~5g/m ²
	糖の生産と転流を促し、丈夫な生育となるため茎葉が充実します。			

液肥混合可否例

※希釈条件：100倍に希釈したタキPK液肥の中に100倍希釈の各液肥を入れ混合

多木有機液肥1・2・3号	アクセル1・2号	マグショット	カリショット	ライムショット	タキニトロ液肥
○	×	×	○	×	×

取扱い上の注意 ◆眼に入らないようご注意ください。眼に入ったときは、すぐに水でよく洗い流して下さい。

「石灰硫黄合剤」と混合すると、有毒ガスが発生する恐れがあり、危険ですから混用は行わないこと。

保管方法 ◆冷暗所で保管して下さい。 ◆密閉して幼児の手の届かないに保管して下さい。

取扱い店

多木化学株式会社

〒675-0124 兵庫県加古川市別府町緑町2番地